

平成 30 年「楽しかったりおもしろかったり」話題あれこれ

年ももう暮れようとしている。ポーッと頭に浮かび来る楽しかったことを思い綴る。

10 月京都大学 本庶 佑 特別教授にノーベル生理学・医学賞が授与されることが決まる、日本人 26 人目の快挙「がん免疫療法」に道を開き高く評価された。又本庶教授は頂いたノーベル賞の賞金（約 1 億 1500 万円）は後に続く研究者育成のため寄付をすると発表されている。

将棋界では 藤井聡太 七段が 16 歳 2 か月で最年少新人王戦優勝、歴代最年少で森内俊之九段の記録 17 歳を 31 年ぶりに更新した。15 歳で七段 16 歳で最年少新人王は驚異的。史上最年少での八大タイトル奪取への期待も高まる。同じく将棋界で 羽生善治 48 歳が全タイトル 7 冠達成し国民栄誉賞も受賞、これまでのタイトル獲得数 99 期、タイトル 100 期目指して現在広瀬章人八段と竜王戦対局中。

卓球では男女ともに若い力が活躍し楽しませてくれている。最近では女子卓球スウェーデンオープンで 伊藤美誠選手 18 歳が中国トップ選手 3 人を立てつづけに破り優勝した。又男子では 張本智和選手 15 歳等 10 代選手が楽しませてくれた。

ゴルフ界では我が茨城県の星 畑岡奈紗選手 19 歳が 11 月 4 日ゴルフ TOTO ジャパンクラシックで優勝、同大会が日米両ツアーを兼ねており米ツアー 6 月のアーカンソー選手権以来米ツアーで早くも 2 勝目、次の目標はメジャー制覇、こちらも期待が高まる。

野球界では若くして米大リーガーエンゼルスの大谷翔平選手 24 歳 ピッチャーで大リーグ 4 勝 2 敗、打者で打率 2 割 8 分 5 厘、ホームラン 22 本、投手と打者と本格的に両立する二刀流であり、4 月 1 日メジャーリーグ初登板初勝利、その 2 日後 4 月 3 日指名打者でメジャーリーグ初本塁打を放った。勝利投手が 2 日以内に打者として出場し初回に本塁打を記録したのはペーブブルース以来、実に 97 年ぶりの快挙、翌日 4 月 4 日には同点ホームランを打つなど大リーグで序盤から強烈な活躍だった。その活躍は大リーグの最優秀新人賞受賞に繋がった。野球では巨人ファンとして 菅野智之選手の 10 月 14 日対ヤクルトスワローズ戦ノーヒットノーラン、又 2 年連続沢村賞、同じく同チーム 岡本和真選手 22 歳の活躍若くして巨人の 4 番バッター打率 3 割 9 厘、打点 100、ホームラン 33 本を記録したのが特筆される。

テニス界では 大阪なおみ選手 20 歳が全米オープンで日本人で男女を通じ初めて 4 大会に優勝を飾り、又ユニークな発言で外国のファンも増えているとの事。

サッカーは 10 月 16 日キリンチャレンジ杯で日本(世界 55 位)がウルグアイ (世界 5 位) に 4 対 3 で勝利した。新メンバーの 堂安 律選手 20 歳や 南野拓実選手 23 歳 中島翔哉選手 24 歳が大活躍、皆さんも今後この三人に注目して下さい、きっとワクワクさせてくれます。スポーツで話題を上げると水泳や、マラソン、ラグビーとまだまだ楽しい話題がありました。

又、スーパーボランティア 尾畠春男さんが山口県で行方不明となった 2 歳児を発見、

世間を明るくさせる話題であった。

最後に我々家族会にとっても大変嬉しい事がありました、それは家族会の念願であるマル福の精神障害者への適用拡大です。県内の全ての家族会の署名運動等を通じて平成31年4月から精神障害者手帳1級所持者にも適用される見込みになりました、又新しい年を迎え精神障害者手帳2級所持者にも適用拡大されるべく我々全員で努力してまいりましょう。

こうしているうちに今年も終わろうとしています。来年も明るい話題が多くある事を願って筆を置きます。H30.11.15 記 (T・Y)